

# No. 1365

## 災害に備えて

— 愛知・名古屋 —

尊い生命や財産をおびやかす恐いビル火災。3月7日から一週間、全国で建築物防災指導週間が行われた。これは防災対策を推進するのが目的で期間中実施された防災査察では特に防火区画、避難階殺、排煙設備などに重点が置かれた。

ひとたび火災が発生すると大惨事にもなりかねないだけに査察はきびしく行われた。名古屋市のある地下街。ここは1日約7万人の人々が利用するという。それだけに防災対策には万全を期し、地下街全域に36台のテレビカメラを設置し、常時、監視の目を光らせている。火災が発生した場合でもすべて状況がこの防災センターでキャッチすることができ、火災報知器、排煙機、たれ壁などが次々に作動するようになっている。なかでもトップライトと呼ばれる排煙装置は今までの地下街にはなかったもの。過去熊本の太陽デパートの火災をはじめ多数の犠牲者を出すビル火災があった。火災が発生した時に円滑な避難ができるよう防災対策には充分心がけておきたいものです

## 「東京新聞杯」将棋大会

ピシッ、ピシッ、と駒の音も快よく第2回「東京新聞杯」将棋大会が3月9日、東京・池袋の東京文化センターで開かれました。参加者は約100名一般の部と高校生以下の部二組に分かれ熱戦がくりひろげられました。審判は芹沢博文八段。田中寅彦四段ら人気プロ棋士。静かなブームといわれる将棋の人気は一段と高まるようです

## カラオケ列車

— 茨城・水戸 —

「さあ、今日も元気に無事故でいこう」と駅長さんの訓辞にも一段と力が入っていざ出発。といってもただの電車ではありません。名付けて「カラオケ列車」国鉄離れの目立つ今日、何とかして国鉄離れを防ごうと、茨城県、水戸駅では昨今流行のカラオケに目をつけ、「カラオケ列車の旅」と銘打った特別企画で会員募集。ねらいはまんまと当り、募集人員400人を越す申し込みに慌ててことわる仕末。水戸から鳴子（宮城県）までのカラオケの旅。歌自慢が多く、マイクの奪い合い。駅長サンも大サービス「旅はよくするがこんな楽しい旅ははじめて」とある会員。値上げなどで余り評判のよくない国鉄も、今日ばかりは評判もよろしいようで……。